

# 労働の革命「党」づくり強要を許すな

8・8集会の  
成功にむけて  
シリーズ8

## 日刊 労働千葉

83. 8. 6  
No. 1410

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

### 8・8 10時みまもと公園に全力結集せよ

全組合員のみなさん。8・8集会は、いよいよ明後日に迫りました。労働千葉の組織をあげてたたかひぬいてきた三里塚・ジェット闘争は、8・8パイプライン供用開始をもっていまひとつ決定的飛躍が求められる段階に突入しています。権力・当局の凶暴な弾圧・処分攻撃とのたたかひ、特に労働「本部」革マル一掃のたたかひは三里塚闘争の勝利をかちとり国鉄決戦の爆発をきりひらいていくうえで決定的に重要な課題となっております。

「確信をもつて闘争を破壊せよ」

労働のファシスト化狙う

「八三年組織的課題」路線

労働革マルは、国鉄労働運動破壊の先兵化にみられるように、あまりにも反労働者性のゆえにすさまじい組織的・路線的危機をむかえています。そして労働革マルは、その危機のりきりを一層露骨な労働のファシスト支配にもとめています。去る二月の労働「本部」東・西全国支部長会議で提起し、今第三九回全国大会で決定しようとしている「八三年われわれの組織的課題」なるものは、次のような内容の主張をしています。

- ① 昨年国労を「働こう運動」にとりこもうとしたが失敗し、労働・国労共闘にキレツが入ってしまった。
- ② それは今日の情勢認識の一致が不十分だからだ。現在は一九三八年の産報化時と全く同じで「厳寒の時代」だから完全に闘争は放棄しなければならぬ。「たたかう労働」というイメージ、「労働はたたかう」と把握されては困る。粉碎しなければならない。
- ③ 全労協発足で日本労働運動は終焉し、総評労働運動は崩壊してしまったのに、まだ国労や労働千葉は「57・11」や入浴闘争を闘うといっているのは許せない。労働は社会党解体、反社民（総評・国労の破壊・解体）、反赤色労働組合主義、反共主義の路線でいく。
- ④ 労働組合員に国労・労働千葉などの闘いに敵対させ、使命感をもって破壊させるために、労働は「党（＝革マル）の問題」を強く意識し、革マルづくり、革マルへの結集をはかっていく。
- ⑤ 労働は革マル・イデオロギーの物質化による「反ファシズム統一戦線の形成」を唱えてゆく。（革マルの「反ファシズム」とはテロ、謀略デマ、警察、革マル連合で労働千葉や三里塚闘争を襲撃し、破壊するファシスト労働運動のことである。）

三里塚闘争への大決起が  
いつさいの勝利をきりひらく

全ての組合員のみなさん。このようなファシスト方針は絶対に粉碎しなければなりません。労働千葉が革マルを粉碎して勝利した、七九年「本部」との分離独立決戦、ジェット燃料輸送阻止スト（80・10～11）、81・3大ストライキなどの数々のたたかひを教訓に労働「本部」革マル追放一掃・労働大改革をたたかひぬこう。三里塚闘争は、戦争、大増税、大合理化など全反動攻撃をうち破り勝利するたたかひです。8・8に総決起し、10・9の大爆発へと発展させていく。

パイプライン供用開始粉碎、二期阻止・空港廃港

## 8・8総決起集会

★ 8月8日(月)  
午前10時  
★ 千葉市  
みなと公園  
★ 作業服上下  
主催  
空港反対同盟  
労働千葉

